

1. 件名:福島第一原子力発電所における温度計信頼性評価の報告書(12月提出分)の提出に係る面談
2. 日時:令和元年12月2日(月)11時00分~12時05分
3. 場所:原子力規制庁 9階会議室
4. 出席者
原子力規制庁
原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室
知見主任安全審査官、田上係員
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー プロジェクト計画部 担当2名

5. 要旨

東京電力ホールディングス株式会社(以下「東京電力」という。)から、令和元年10月16日から令和元年11月15日までのデータを基に実施された福島第一原子力発電所1~3号機の原子炉圧力容器内温度計及び原子炉格納容器内温度計の信頼性評価の結果等について、以下の説明があった。

- 2号機RPV下部温度計であるTE-2-3-69M3については、温度計信頼性評価の結果、「参考に使用」から「故障」に変更。
- 2号機温度計配置図面の一部配色の誤りについて
 - ✓平成29年2月分から令和元年11月分の報告書において、2号機の温度計配置図(立体図)におけるTE-2-3-69M3(34)の配色が、正しくは緑色(参考に使用)だが、青色(監視に使用可)となっていた。なお、配置図以外には誤りはなかった。
 - ✓発生の経緯及び原因について
 - 当該温度計は平成28年9月に「監視に使用可」から「参考に使用」に変更になっており、その時点では配色(緑色に変更)は間違っていなかった。
 - 平成29年1月に2号機の別の温度計の評価が変更になり、立体図の配色を変更したのと同時に、当該温度計の配色も青色に誤って変更した。
 - 平成29年2月分の報告書作成時に編集する立体図のファイルが最新ではないものを使用したことが原因と推定している。
 - チェックリストを用いてダブルチェックはしていたが、変更箇所のみを確認していたため、誤りを発見できなかった。
 - ✓再発防止対策
 - 図面のバージョン管理に関する手順を明確化する(手順書に反映)。
 - チェックリストに図面のバージョン管理に関する項目を追加する。

原子力規制庁は、12月提出分のPCV・RPV温度計の信頼性評価等について了承するとともに、今後は記載等の誤りが無いように実効のある対策を講じることを求めた。

- また、東京電力から、ダブルチェックの労力削減のため、温度計配置図のうち立体図の温度計の配色を全て黒色に統一したい旨相談があった。

○原子力規制庁は、差し支えない旨伝えた。

6. その他

資料：

- 福島第一原子力発電所第1号機、第2号機及び第3号機の原子炉内温度計並びに原子炉格納容器内温度計の信頼性評価について（2019年12月提出）
- 温度計信頼性評価の報告における2号機温度計配置図面の一部配色誤りについて